フジタガンカニュース

Vol.133 2021.10.25

眼科とアトピー性皮膚炎のタダならぬ関係❶

　最近の新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数ですが、東京のみならず全国的に大幅な減少傾向となっています。そして皆様ご存知の通り、本日（25 日）から東京都と大阪府が飲食店に対する営業時間の時短要請を解除し、東京は認証を受けた店が対象で、酒の提供時間や営業時間の制限がなくなります。いち早く制限緩和に踏み切ったイギリスでは感染者が再び増加する傾向が見られたりなど…慎重な対応が必要な事は勿論ですが、それでも明るいニュースである事は間違いないですよね。ワクチンの接種に関して、日本国内はかなり高い割合の方が接種済みとなっており、あとは内服薬の開発？…ですね、やはり。

　今回のフジタガンカニュースでは「アトピー性皮膚炎」を取り上げてみたいと思います。「皮膚科の病気なのに何故？」と疑問に思われる方もあるかもしれません、しかしこの疾患は目にも病態が及ぶため眼科医からの説明を理解する事も重要なんですね。

　アトピー性皮膚炎の定義ですが…「アトピー性皮膚炎は、悪化･改善を繰り返す、痒みのある湿疹を主病変とする疾患であり、患者の多くはアトピー素因を持つ。」という事になるそうです。ここで皆さん疑問が出ますよね。「あれ？アトピー素因って何ですか？」そうですよね？そこは説明が必要かと思います。

　アトピー素因とは「気管支ぜんそく、アレルギー性鼻炎、結膜炎、アトピー性皮膚炎のいずれかまたは複数を自分自身や家族がもっている事。また、IgE 抗体というアレルギー反応に関与する抗体を産生しやすい体質である事」です。分かりやすく説明すると「IgE の存在が I 型アレルギーの証明＝アトピー素因」って事で良いのでしょうけれど、血液検査で IgE を証明する事は出来ないが「多分アレルギー反応だよね？」という患者さんの場合も含めて考えたいので…その中途半端な事の説明がこのわかりにくい文章になるんでしょうね。上の文章はネットで皮膚科のドクターがコメントしているものから抜粋し一般向けに改変しておりますので、一応正式な雰囲気のモノなんですけど。ちなみに『血液検査で IgE の証明は出来ないが「多分アレルギー反応だよね？」というケース』ってどういう事か？というと…フジタガンカニュースのバックナンバーで説明をしています、Vol.49-50 の「ロサンゼルス結膜炎の謎を追え！」ですね。また、アトピー性皮膚炎の目への影響の一部についての説明は、やはりフジタガンカニュースのバックナンバーVol.33-34 の「あー目が痒い！！」に記載があります。ご興味のある方はそちらもご覧下さい。

　という訳で「眼科とアトピー性皮膚炎のタダならぬ関係」についての説明を…まずは一般的な解説を引用させて頂きます。当フジタガンカニュースでは御馴染み…公益社団法人日本眼科医会のホームページ上に掲載されている、その名もドンズバ！「アトピー性皮膚炎と目」という文章です。https://www.gankaikai.or.jp/health/29/@@@